

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：7月ユーロ圏鉱工業生産

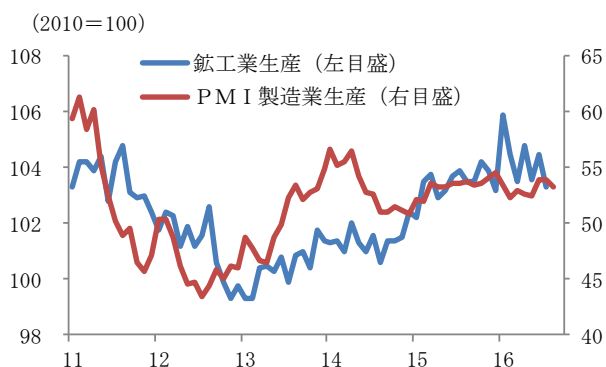
発表日：2016年9月15日(木)

～緊急停止～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

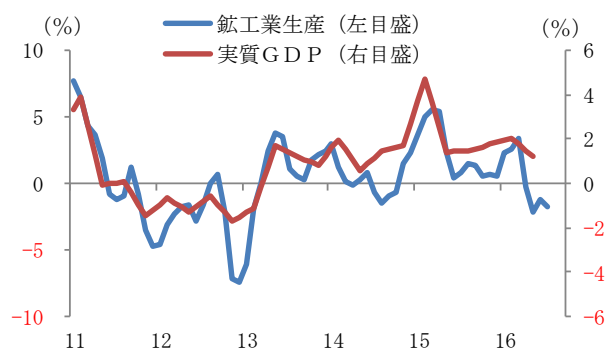
- 14日に発表された7月のユーロ圏の鉱工業生産は前月比▲1.1%と2ヶ月振りの大幅減産。7-9月期が前期比プラスとなるには、8・9月平均で前月比+1.0%以上の大幅な伸びが必要。今月の落ち込みは、①前月急伸の反動減、②例年に比べて工場の夏季休業日数が多かった、③振れの大きい鉱業の急落（前月：同▲1.1%→今月：同▲17.1%）が主導した模様。8月は反動増が見込まれるが、同月のPMI製造業生産指数が低調で、一過性とみられる要因を割り引いても、7-9月期の減産は避けられない。
- 財別には、中間財（同▲0.4%→同▲0.5%）、エネルギー（同▲0.5%→同▲1.4%）、資本財（同+1.6%→同▲1.7%）、消費財（同+1.2%→同▲0.1%）が押し並べて前月から減少。エネルギーの落ち込みを業種別に確認すると、オランダの原油・天然ガス生産（同+1.4%→同▲44.3%）の急落が目立つ。過去3ヶ月で生産水準が3分の1に急縮小しており、関連施設の停止など特殊要因が寄与した可能性が高い。資本財の落ち込みを業種別に確認すると、全般に不振だが、特に自動車関連の落ち込みが目立つ。英国民投票後の先行き不透明感が企業の生産活動に影響したとみることも出来るが、落ち込みが包括的なため、夏季休業など一過性の要因が落ち込みを大きく見せている可能性が高い。

■ユーロ圏の鉱工業生産と企業景況感



出所：Eurostat、Markit

■ユーロ圏の鉱工業生産と実質GDP成長率



注：鉱工業生産は3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率。  
 実質GDP成長率は前期比年率。 出所：Eurostat

■ユーロ圏の鉱工業生産（季節調整済み、前期<月>比、%）

	2015		2016		2015		2016						
	3Q	4Q	1Q	2Q	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
産業計	0.4	0.1	0.8	-0.3	-0.3	-0.7	2.6	-1.3	-1.0	1.3	-1.1	0.9	-1.1
中間財	-0.1	0.7	0.9	-0.5	0.6	-0.4	1.3	0.0	-1.1	0.5	-0.2	-0.4	-0.5
エネルギー	1.4	-1.8	-0.1	-0.2	-1.6	-2.7	2.5	-1.8	3.1	0.2	-2.5	-0.5	-1.4
資本財	0.8	-0.1	1.1	-0.4	-1.5	-0.6	3.7	-1.9	-1.2	2.0	-2.3	1.6	-1.7
消費財	0.3	0.1	0.8	-0.0	0.3	0.3	2.9	-2.1	-2.9	2.7	-0.6	1.2	-0.1
耐久財	-0.5	0.7	-0.4	1.4	-0.4	-0.4	0.3	0.0	-0.8	2.5	-1.4	1.3	-0.7
非耐久財	0.5	-0.0	0.9	-0.1	0.4	0.4	3.1	-2.3	-3.1	2.7	-0.4	1.1	-0.1

注：四捨五入の関係で前月比の伸び率はプレスリリースと一致しない。 出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。